

第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る大宮区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2019年1月23日（水）14：00～16：00

開催会場：さいたま市大宮区役所3階特別会議室

出席者（懇話会委員）：

さいたま市PTA協議会大宮区連合会	安部 紅緒 氏
さいたま商工会議所大宮支所	荒井 愛子 氏
大宮商店街連合会	荻原 ちとせ 氏
さいたま市社会福祉協議会大宮区事務所	大橋 太郎 氏（職務代理）
青少年育成さいたま市民会議	小野 安史 氏（職務代理→座長）
大宮区自治会連合会	河原 友香 氏
大宮区明るい選挙推進協議会	古賀 宏子 氏
市民活動ネットワーク	加藤 久美子 氏
大宮交通安全協会	杉田 秀夫 氏
大宮区自治会連合会	関根 正美 氏
大宮区安全なまちづくり協議会	高橋 久美子 氏

（事務局：さいたま市）：

大宮区役所：会田大宮区長、櫛健康福祉部長、宮野総務課長、佐藤コミュニティ課長、大川原福祉課長、川島総務課長補佐

都市経営戦略部：田中副参事

欠席者（懇話会委員）：

公益社団法人埼玉中央青年会議所	石島 英三 氏
大宮中部地区民生委員児童委員協議会	大原 佐恵子 氏
大宮西交通安全協会	中村 一紀 氏

議題及び公開又は非公開：（議題）大宮区の将来像改定素案たたき台について
（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題のとおり

問合せ先：大宮区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-646-3011

1 開会

2 意見交換

大宮区の将来像改定素案たたき台について

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

・第1回目の論議を踏まえた資料を読むと、大宮区は重要な時期にあるにも関わらず、東日本の顔としての論議が深まっていないのが現状ではないだろうか。論議を深めるためには、さいたま市の総合計画の中での大宮区の位置付けを明確化すべきだろう。例えば、品川駅は西の顔であるが、それを実現するための計画がしっかりしており、またその進捗も著しいと感じている。一方の大宮エリアでは、そもそも品川駅のようなランドデザインができていないのではないだろうか。区役所を中心とした街づくりも考えるべきだろう。

また、(資料2「大宮区の将来像改定素案たたき台」の「1 東日本の玄関としてふさわしい、利便性と機能性を兼ね備えた大宮駅周辺のまちづくり」に) ビジネスチャンスの創出と書いてあるが、肌感覚としてワードセンスがやや古い。若い人たちが起業・創業できるようにコワーキングスペースも前提とした上で、ビジネスという言葉を使わずにそうした機会を表現した方がいいのではないだろうか。

・大宮駅ランドセントラルステーション化構想のイメージが知りたい。何ができればこれができるのか、というイメージが湧かない。

・資料1「第1回大宮区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見」に用いられている「障害者」の「害」は「がい」に変えた方がいいのではないか。

・資料1「第1回大宮区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見」に「GCS」と書いてあるが、初見では理解できないため、大宮駅ランドセントラルステーション化構想(大宮 GCS 化構想)の略語であることを書いて欲しい。

また、(資料1「第1回大宮区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見」に)「企業、大学、テレワークの誘致」とあるが、新しくビルを建てるということか。企業や大学を誘致するのは分かるが、テレワークの誘致については違和感を覚える。

・計画については、その場限りのものではなく、大きな構想で考えて欲しい。例えば、西口の駅前広場は現在よりも規模の大きいものができるはずだったが、資金不足で実現しなかったという話を聞いた。

・都市再生緊急整備地域に指定されたということは、予算も優遇されるようになるだろう。

そのため、官主導ではなく民主導でやるべきだろう。今しかできないような規模と質を実現する最後の機会だと思うので、チャレンジして欲しい。

・資料2「大宮区の将来像改定素案たたき台」において、「1 東日本の玄関としてふさわしい、利便性と機能性を兼ね備えた大宮駅周辺のまちづくり」とあるが、現状の大宮駅がどういう駅かを考えると、通過点と言わざるを得ないだろう。駅ナカを歩き回ることにはあるが、駅周辺を散策するような町ではないのが現状である。そのため、通過点という地位になってしまっている現状を改善するようなまちづくりをするべきだろう。

・(資料2「大宮区の将来像改定素案たたき台」の「1 東日本の玄関としてふさわしい、利便性と機能性を兼ね備えた大宮駅周辺のまちづくり」について)「東日本の玄関としてふさわしい」とのことだが、玄関だと入口として終わってしまう印象を与えかねないので、中枢都市などの文言に変えた方がいいのではないだろうか。

・仙台では、駅前からホテルが見渡すことができ、商店街も楽しめ、自然も少し足を延ばせば触れあえる。ホテルがあり、イベントをやれるスペースもあるからこそ、観光としての需要が大きいのだと思う。今回、駅を再開発するのであれば、町全体を含めた大きな枠組みでまちづくりもするべきではないだろうか。

・資料2「大宮区の将来像改定素案たたき台」の「2 質の高い生活環境と安心して暮らせるまちづくり」において、ただ道路と書くのではなく、「安全に渡れる道路」または「ユニバーサルデザインに基づいた道路」などの記述にしてはどうだろうか。また、「健康に住み続けられるまちづくり」ではなく、「心配なく普通に生活できるまちづくり」の方がいいのではないだろうか。

・大宮の図書館には展示スペースがあるものの、抽選になってしまい、展示する機会に恵まれないという話を聞いている。氷川参道がそうした芸術活動ができる場所になればと思う。

・大宮に在勤している立場としては、大宮駅グランドセントラルステーション化構想が実現した時には素晴らしい町になると思う。ただ、金沢駅のように、デザイン面で大宮の地域資源を連想できるとより良いものになるのではないだろうか。また、観光客が少ないということだが、埼玉県でも観光人気が高い秩父や川越との連携を推進すれば、埼玉県全体の観光需要の底上げに貢献できるのではないだろうか。

・資料2「大宮区の将来像改定素案たたき台」の「3 区の魅力の発信と、人の交流が生み出すまちづくり」において、「まちの情報や観光ルートが充実した行内外から訪れたいくなる

まちづくり」とあるが、「訪れる人を増やすまちづくり」に変えた方がいいのではないだろうか。また、「発信するまちづくり」ではなく、「発信する力を持つまちづくり」に変えた方がいいだろう。

・道路や鉄道の話は出ているが、空からの視点は出ていない。首都直下型地震が生じた時に、首都機能の補完が期待されているが、どこかにヘリポートを設置しなければ対応できないのではないだろうか。現状、ヘリポートは設置されているとは思いますが、そういう視点を持つことも重要だろう。また、今後は高齢者の単独世帯数の増加が予想されるため、デザイン性のある小さなシティバスの需要も大きいと考えられる。

・大宮駅近くにある大英橋は老朽化が進んでおり、また道幅もかなり狭い。災害などが生じ、大英橋が通れない事態に陥った場合、東から西へ渡る術が無くなるのは大きな問題だろう。

3 閉会